



国民的スポーツ (ベトナム編)

1. はじめに

ベトナムの国民的スポーツ、それはズバリ「サッカー」です。世界で最も人気のあるこのスポーツは、ベトナムでも大人気。若者だけでなく、老若男女、幅広い世代に受け入れられています。ハノイやホーチミンといった都市部はもちろん、地方都市でもサッカー人気は根付いています。今回は、ベトナム人のサッカー愛について紹介します。

2. ベトナムの蹴球事情

「サッカー」と言えば、11人对11人でフィールドを駆け回るあの競技ですが、ベトナムでは、これ以外に、「ビーチサッカー」、「フットサル」、そして「ストリートサッカー」も普及しています。

2.1. ビーチサッカー事情

ビーチサッカーは、ビーチの上で5対5のプレイヤーが競い合うサッカー。2000年頃から普及が進みました。まだ10年ちょっとですが、この短期間で競技人口は増えてきていま

す。南北に長いベトナムには、ビーチサッカーに適した海岸がたくさんあります。プロチームや代表チームも結成されています。とは言え、コートが限られているためか、まだまだ十分に普及しているとは言えません。

2.2. フットサル事情

フットサルは、プレイヤーの数はビーチサッカーと同様の5対5です。ビーチサッカーと比較すると、子供から大人まで、幅広い世代がフットサルを楽しんでいます。トーナメントカップもあちこちで開催されており、年々人気が高まっています。

2.3. ストリートサッカー事情

田舎に行くと、ビーチサッカーコートやフットサルコートが整備されていません。それでも、サッカー好きの子供たちは、田畑の上で日が暮れるまでボールを蹴り合っています。ボールさえあればどこでもプレイできる。これがサッカーのいいところです。子どもたちは、こうして、サッカーと日常的に触



【写真1】ビーチサッカー



【写真2】Asia Futsal Festivalでプレイするベトナム人選手



【写真3】 田畑の上でボールを蹴り合う子どもたち

れ合っています。こうした風景が、ベトナムのサッカー人気を支えていると言っても過言ではありません。

3. プロリーグ

ベトナムには、日本のJリーグに相当するプロリーグ「Vリーグ」があります。1980年に創設され、2007年にプロ化したばかりの若いリーグです。外国と比べるとまだまだレベルが高いとはいえないVリーグ。目のこえたサッカーフリークの中には、Vリーグでは飽き足らず、欧州リーグにどっぷりハマっている人も少なくありません。

FIFAワールドカップは大いに盛り上がります。深夜でも、市内のカフェやスポーツバーに集まって、友人たちとテレビ観戦するのは本場欧州と同じ。時差がある場所での大会は、多くのベトナム人を寝不足にさせます。

残念ながら、ベトナム代表チームはワールドカップ本大会の出場経験がありません。Vリーグがベトナム代表の強化に繋がるはずで、ベトナム代表のワールドカップ初出場を多くのベトナム人が夢見ているのです。

4. 結び

Jリーグにベトナム人選手が参戦したり、日本人がベトナム代表チームの監督を務める



【写真4】 深夜のスポーツバーでサッカー観戦する人々

等、なにかと日本のサッカーと縁のあるベトナムサッカー。これからも、日本の背中を追い続けていき、いつかはワールドカップで日本代表と対戦する日を心待ちにしています。

著者紹介

Đỗ Thị Mỹ Liên

Ms. Thi My Lien DO (チー・ミー・リーエン)

GIP ASEAN ベトナム オフィス (Havip Intellectual Property Group) 所属。1976年ハノイ生まれ。専門は特許、意匠、商標。2001年より知的財産分野のキャリアをスタート。2004年ベトナム弁理士試験合格。2007年、2014年JPOのトレーニングプログラムで来日。2013年よりUnited GIPsに参加。

<http://gip-asean.com/>

<http://www.havip.com.vn/>

編訳者紹介

木本 大介 (きもと・だいすけ)

日本弁理士、GIP東京所属。1977年神奈川県生まれ。専門は通信、電気、ソフトウェア。2005年弁理士試験合格。企業知財部3年、特許事務所7年の経験を経て2013年7月より現職。モットーは、「正しいモノより楽しいモノを」。

<http://www.giplaw-tokyo.co.jp/jp/>